

社協だより

ななかや

第18号
平成17年 3月15日
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
中屋支部



今、ビオトープは 稲羽西小学校長 清水 孝子

今学校ビオトープは静かなたたずまいです。しかし確実に数多くの生命が息づいているはず。木々も小さな芽を付けています。よく気を付けていないと見えない生命を、児童の「生命の森委員会」のメンバーがカメラに納め、昼の放送でテレビを使って全校に紹介しています。ある日は「春を待つ雑草」の紹介でした。「ヒメジョオン・マツヨイグサ・ヒメムカシヨモギがロゼット状になって寒さから身を守っています。水の中は暖かいので、ホテイアオイ・ボタンウキクサが繁っています。カワニナやタニシも生きています。」

7ヶ月間という長い間、4年生のホタル委員が大切に世話をしてきたホタルを、寒いところで冬越しをさせるため、水量をうんと絞って水温を下げました。だから今は見ることはできないが、カワムツ・サカマキガイ・モノアラガイなど確実に繁殖していると岩井秀行教諭は言います。

堅い土のグラウンドだったところに、数多くの生き物が生息しています。地域の皆様のおかげで、確かな「生命の森」として成長している学校ビオトープです。

一昨年地域の方々のご尽力により小学校にビオトープが出来ました。名づけて「生命の森」とのこと、すばらしいことばと感じました。社会で痛ましい出来事が次々に起こり心が荒廃してしまっていますが、目を転ずれば、至るところに新しい芽が萌えて来ています。環境については地球温暖化を防ぐ京都議案書がいよいよ実行に移されました。会社、

先輩の心意気を受け継ぐ

事業所で発生する廃煙・廃熱また車の燃料から排出されるガス・各家庭でつかわれている冷暖房の熱源をいかにコントロールしていくか。これらの取組みの最先端が学校教育のビオトープだと思います。地域の自然を大切にするには、先輩が築いて下さった稲羽西小の伝統を大切に受け継ぐことだと思っています。社会福祉協議会の活動は、この精神を大切に守り、

中屋支部長 澤田 佳辰

人々が集まり、自然にふれることによりうるおいを感じる事ができる環境を大切にしたいと思っています。今年、コンバーティンングテーブルを各自自治会の児童公園と小学校に寄贈させていただきました。

また前年からの継続事項として、更木支部、中屋支部の合併が討議され、新年度には稲羽西支部として発足の運びとなって、人と人の交流の輪が拡大していく運びとなっています。従前に倍して地域の活動がご理解とご協力をお願い申し上げます。

関わりの中で育ち合う

各務原市立中屋保育所園長 今村寿美子



中屋保育所では、現在五十六名のお子さんを保育しております。地域の特徴として、核家族より、二世帯、三世帯が同居している家族が多いことです。この特徴を生かして、『祖父母参観』を実施しています。今年度は、「お正月遊び」を一緒に楽しみました。かるた、福笑い、坊主めくり、お手玉、あやとり等、お孫さんと一緒に遊びました。お孫さんが、子ども時代を思い出して、昔ながらの遊びを披露して下さい、子どもたちは大喜びでした。

また、参観時に「一人あやとり」を教えた下さった事がきっかけとなって、子どもたちの間で「あやとり」が流行っています。きつと家庭に帰っておじいちゃんおばあちゃんに、「子どもたちに「あやとり」を教えて下さい、保育所で子ども同士が「あやとり」を教え合う姿に発展していったのだと思います。そして、「あやとり」を覚えてきた子が、まだ「あやとり」を知らない子へ教える姿が、とても上手にわかりやすく説明していることに驚かされました。そして、「あやとり」に興味を示さなかつた子が「おしえて」と友達に関わったことから遊びが広がり、会話も増えてきました。子ども達の姿から、家庭での祖父母や保護者のあたたか



認知症(痴呆)を予防する食事のヒント

- 1 良質なたんぱく質をじゅうぶんとっている…
魚、肉、卵、大豆製品などの良質のたんぱく質は、血管をじょうぶにして脳卒中を防ぎます。
- 2 食塩のとりすぎに注意している…
食塩のとりすぎは高血圧をまねきます。1日7~8gを目標に、しょうゆ、みそ、漬物を減らすくふうをしましょう。
- 3 欠食や偏食はしていない…
食事を抜いたり、主食(糖質)を極端に減らすと、脳のエネルギー不足してしまいます。1日3食きちんととりましょう。
- 4 カルシウムを積極的にとっている…
カルシウムが不足すると骨折しやすくなり、骨折が寝たきりや認知症をまねくこともあります。牛乳や乳製品、小魚、海藻などを積極的に食べましょう。
- 5 動物性脂肪をひかえめにしている…
肉の脂身などの動物性脂肪のとりすぎは動脈硬化の原因に。動物性脂肪3:植物性脂肪4:魚の脂3の割合が理想です。
- 6 よくかんで食べている…
年とともに飲み込む力が弱くなるので、よくかんでゆっくり味わうようにしましょう。かむことは脳への刺激にもなります。



い関わり方が見えてきました。また、保育所周辺を散歩に出か

けることがあります。「どこへいくの?」と地域の方が、声をかけて下さったり、小学校のウサギを見に行けば「かわいい」と寄って来て声をかけてくれるお兄さん、お姉さんがいます。子ども達が成長していく中で、家族との関わり、保育所で同年齢や異年齢との関わり、地域の方との関わりの中から、子どもたちが「自分一人で育ってきたのではなく、多くの人に大切にされて育ってきたんだ」と、ふっと気付いてくれることがあると信じ、今後も保育に携わっていきたいと思います。



守られて居ますか？子供達の安全!!

各務原市青少年育成市民会議 副会長 刈谷 眞行

☆ 通学路見まもり隊 活動より



不審者被害届件数 15年4月～16年1月 **68件発生**
半減 16年4月～17年1月 **34件発生**

現在市内校区で、2489名の登録会員を得て、活動を下さっています。

稲西小校区では、149名の方の協力を得て、皆さんで「地域の子どもは、地域で育てよう」そして見守ろうを合言葉に、日々の見まもり活動 ご苦労様です。

次に市内の

「子どもの声」

“見まもり隊、私を守る、大きな家族!!”

朝、私のお母さんは「気をつけてね。」と言って、道に出て私が角を曲がるまで見送ってくれます。もう1人、私の下校を見守ってくれる人がいます。見まもり隊のおじさん達です。挨拶しかしないのに、通学班全員の名前と顔を知ってくれます。私は防犯ベルを持っているし、気をつけているけど、見まもり隊の人達がいろいろな所で見ていてくれたら、冬の暗くなった時の下校も安心だと思います。地域の子ども全員を見守ってくれる見まもり隊は大きな家族みたいだなと思いました。

(市内小学校6年生の標語と作文)

「大人の声」

- 初めは、私の方から子どもたちに声を掛けていましたが、近頃では子ども達から声を掛けてくれるようになりました。子ども達と色々な話をしながら歩いているととても楽しいです。
- 子ども達の安全のためと思って活動に参加しましたが、子ども達はもちろん、大人も含めた地域の人間関係が深まるように感じられ、楽しく活動しています。
- 「こんにちは、気をつけて帰ってね。」と声を掛けると、「いつもありがとう」と挨拶が返ってきます。子ども達から、パワーをもらっているような気がします。

国際理解・国際協力のための作文コンクール
 最優秀賞
 第四十四回国際理解・国際協力のための
 全国中学生作文コンテスト
 優秀賞
 足立峰一郎記念館会長賞

僕達がこの家庭ごみを減らした成果として残せる費用が、そのままWFPへの支援費用になる仕組みがあればいいなと思います。

市の焼却予算を決めておき、実際ごみに費やしたお金の差額を、募金として送るのです。「あなたがごみを一割減らせば、世界の子供達が三人助かります。」これをキーワードに、ごみを減らしていくことにより、たくさんの方の基金が集まるといいます。みんなで協力すればするほど支援基金が増えるため、ごみ収集所などにポスターなどを貼って、みんなに呼びかけることにより、市のごみが減っていくと思います。

このようにして、生ごみを減らせば、飢餓に苦しむ子供達の支援にもなるし、ごみの焼却が引き起こす温室効果ガスの削減にもつながり、地球にやさしくする活動にもつながります。

食について考え、大切に作る、そんな当たり前のことが、僕達の生活だけでなく、世界の子供を守るのです。

僕達も国連の一員として、いや、この地球の一員として、共に生きていく、そんな気持ちを忘れないことが大切だと思います。

ホタルを育てて一年

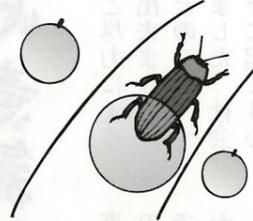
稲西小学校四年 永田 卓巳



ホタルを育てることを聞いた時はびっくりしました。わけは、山の中の谷川しかすまないホタルを本当に育てられるのかなと思っただけです。ぼくがホタル委員になったわけは、生き物が好きで、あまり見られないホタルをふやしたかったからです。

毎日、ホタルの世話をしました。最初は平家ポタルだけだったけど、とちゅうから源氏ポタルを育てるようにになりました。毎日、氷を入れたり、

生命の森でも元気に育つて六月には、ホタルが飛ぶようにこれからも、がんばって、世話を続けたいと思います。生命の森でたくさんのホタルが光ってほしいと思います。



日本と国連

稲羽中学校三年 岩井 秀成



WFPとは、国連世界食料計画とよばれる飢餓撲滅を目的として設立された国連最大の食糧援助機関です。戦争や災害で生まれた難民や被災民にたいして、食糧援助を行っています。二〇〇三年度は、世界八十二ヶ国の一億人を対象に六〇〇万トンの食糧を援助してきました。この数値は、日本の家庭から出る食品廃棄物の半分以上な

のです。なぜ、こんなにも食品廃棄物が多いのだろうと思い、インターネットで調べてみることにしました。

すると、ほとんどが家庭からの生ごみでした。日本の食品廃棄物の量は、年間二〇〇万トンです。そのうち、食品製造業が二割、食品流通業と外食産業で二割ですが、それぞれ五〇%と二〇%の再生利用をしています。ところが、残り六割の家庭からの食品廃棄物の再生利用は、一%未満なのです。なんと家庭から年間一二〇〇万トンの食品が生ごみとして捨てられ、焼却炉で燃やされ、温室効果ガスを生んでいます。

世界で飢餓に苦しんでいる人は八億人（七人に一人）います。そして、毎日一万人が飢えでなくなっています。地球全体ではあり余る食料があるのに、どうしてなのでしょう。僕達が、無駄に捨てている食品をなんとかできないものかと考えました。

僕達は小学校の頃に、ソマリアの子供達に送る米を自分達の手で作ったことがあります。そのとき、大変苦労して、やっと米を売らせた経験は、僕の心に焼き付いています。食べ物がこうして作られているのだと思うと、食べ物大切さを身にしみて感じました。

僕達は、そんな食べ物を粗末にしないで、食品廃棄物をなくしていく必要があると思います。何も生ごみを完全になくするというわけではありません。品を買うときに余分にはならないかなとか、食べ残さないようにしようかなとか、ほんの少し気にして生活すれば、生ごみを減らせると思います。たった一割でも良いと思います。

家庭の生ごみが一割減れば、一二〇万トンの一般廃棄物が減ります。家庭ごみの焼却や埋め立てには、ある資料によると、一トン三万円以上かかるので、二、〇億円の税金を軽減できます。これは、去年度WFPへの日本政府拠出額のほぼ三倍です。

僕達がこの家庭ごみを減らした成果として残せる費用が、そのままWFPへの支援費用になる仕組みがあればいいなと思います。

市の焼却予算を決めておき、実際に費やしたお金の差額を、募金として送るのです。「あなたがごみを一割減らせば、世界の子供達が三人助かります。」これをキーワードに、ごみを減らしていくことにより、たくさんの方の基金が集まるといいます。みんなで協力すればするほど支援基金が増えるため、ごみ収集所などにポスターなどを貼って、みんなに呼びかけることにより、市のごみが減っていくと思います。

社協だより

な か や

第18号
平成16年8月1日
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
中屋支部

年間活動計画

月	活動計画
16年4	・第1回役員会(23日) (役員選出、事業計画・予算審議)
5	・推進委員会(12日)
6	・自治会単位コミュニティー会議
7	・介護予防教室(9日) ・第2回役員会、会員募集説明会(22日)
8	・社協だより「なかや」発行(1日) ・親子ふれあいの会映画(5日) ・社協会員募集 ・チャリティーバザーへの寄贈品収集
9	・各務原市福祉フェスティバルへの協力(5日)
10	・稲西小校区市民体育大会(10日) ・第3回役員会(21日)
11	・中屋、川島支部交流役員会
12	・友愛訪問(寝たきり老人)(1日)
16年1	
2	・友愛訪問(寝たきり老人、独居老人)(2日)
3	・第4回役員会(事業報告、決算報告)(4日) ・社協だより「なかや」発行(15日)

平成16年度 支部社協収支予算

収入の部		
区 分	予算額	備 考
繰 越 金	272,831	
社 協 交 付 金	270,000	会費の40%
市 社 協 助 成 金	100,000	機関紙代・親子ふれあいの会・会員主旨説明会・福祉座談会・機関紙代
預 金 利 息	2	
計	642,833	

支出の部		
区 分	予算額	備 考
事 務 費	10,000	郵送費・印刷費
共通実施事業	185,000	
福祉教育事業	25,000	三世代ふれあい広場・介護講習会
友愛訪問事業	130,000	寝たきり老人、独居老人訪問
支部育成事業	30,000	役員会(6回)
メニュー事業	130,000	
機関紙発行	90,000	2回分
親子ふれあいの会	40,000	フィルム借代、ジュース代
その他の事業	200,000	
共催事業	40,000	グランドゴルフ大会・体育大会
啓発事業	90,000	
ふれあい事業	70,000	コミュニティー会議・近隣ケアグループ
予 備 費	117,833	(交付金×1/2)
計	642,833	

申し上げます。
バブル崩壊後の「失われた十年」の総決算、少子高齢化、財政赤字、グローバル化、技術革新。

先日、民生委員の小島様、尾関様



伝統のある社協だより「なかや」の発行に新任支部長として、ご挨拶

思いやりのある ひらがれたまちづくり

中屋支部長
澤田 佳辰

とお元気で過ごされているお年寄りを各々自治会長様の推薦により訪問して取材をさせていただきました。それはそれは皆様元気いっぱい、日を楽しんで暮らしているお話がポンポンと出て大変感銘を受けました。
本年も例年どおり活動いたしますので、共に手をたずさえて協力し、明るいまちづくりにご理解をお願い致します。

ホッケー・アイスホッケー お楽しみ

佐々木 美年子

私達がホッケーを始めたのは、岐阜国体で開催は全種目出場が出来るという事でできた最初のチームでした。
入学して四年目で岐阜国体でした。それまでの間、練習試合をしても、インターハイに出場しても負けてばかりで勝つ喜びを知りませんでした。
忘れもしません、当時最強のチームだった大阪の羽衣学園との国体の一回前の練習試合で初めて勝ち、国体で優勝する事が出来ました。とても嬉しく感動し、皆で大泣きして、林監督を胴上げした思い出は忘れる事ができません。こんなに素晴らしい思い出が出来た事を感謝しています。



グリーンスタジアムにおいて、日本女子ホッケーチームの安田監督、津田コーチにオリンピックでの活躍を激励する澤田支部長、松尾副支部長

は本当に大変だと思えます。家族の方々の協力に心から感謝を申し上げます。
厳しい練習を続けてきた選手達も、大変だったと思えますが、これからが始まりです。油断する事なく、気を引き締めて、一試合、一試合を大切にして、メダルに挑戦して下さい。良い結果の出る様に一生懸命、応援しています。
きっと皆さんも一生の内、物事に一生懸命に取り組めた事が、最高の思い出になると思います。これからは監督、選手もまず健康が第一。体には十分気をつけてオリンピック出場という、世界の舞台でメダルを獲得される事を願っております。ご健闘をお祈りします。

キトリ線

☆福祉アンケート調査にご協力を！

次の問いにお答え下さい。
該当する項目に○でお囲み下さい。
8月20日までに班長さんに提出して下さい。

- ◎問1 あなたが住んでいるまちで近所づきあいのうち一番関わりのあるものは何ですか？
 - ①自治会・子ども会
 - ②小中学校のPTA
 - ③シニアクラブ
 - ④ボランティア活動
 - ⑤近所に住んでいる親しい友人
 - ⑥特になし
- ◎問2 福祉のことで今一番知りたいことは何ですか？
 - ①福祉の制度のこと
 - ②健康や医療
 - ③介護方法
 - ④年金
 - ⑤老後のこと
 - ⑥特になし
- ◎問3 社会福祉協議会の事業でご存知なことは？
 - ①支部社協活動
 - ②広報紙(社協かみがはら)(なかや)
 - ③赤い羽根共同募金
 - ④福祉フェスティバル
 - ⑤わからない
- ◎問4 中屋支部で次の事業を行っています。ご存知ですか？
 - ①介護講習会
 - ②自治会単位コミュニティー会議
 - ③社協だより「なかや」
 - ④親子ふれあいの会・友愛訪問
 - ⑤稲西小校区市民体育大会
 - ⑥知らない
- ◎問5 要望事項・ご自由に意見を述べて下さい。

お元気に過ごされているお年寄り紹介



① 大塚吾一
 ② 松本町
 ③ 明治41年 (95才)
 ④ 6名・13名・20名
 ⑤ お肉、ハム盆栽いじり、野球、すもうのテレビ観戦



① 小島一郎
 ② 上中屋町
 ③ 大正6年 (88才)
 ④ 1名・3名・4名
 ⑤ お酒、散歩、畑仕事、書の趣味、10人家族で奥様と59年間一緒



① 今枝いと
 ② 上戸町
 ③ 大正2年 (91才)
 ④ 4名・7名・8名
 ⑤ 好き嫌いなし、水墨画・野菜づくり、月1回弘法様の日にやうざぎ会で皆様と一緒に世話する



① 伊藤レツ
 ② 大佐野町
 ③ 大正3年 (90才)
 ④ 4名・10名・5名
 ⑤ 野菜を多め、嫌いなものはない、読書、ゲートボール、毎日感謝の気持ちを持つ



① 小島セツ子
 ② 下中屋町
 ③ 明治45年 (92才)
 ④ 5名・14名・15名
 ⑤ 好き嫌いなし、読書、野菜づくり、88才の時福寿草という本を発売、現在も毎週ボランティア「つつじ苑」で皆様とお話ししている



① 森 はな
 ② 成清町
 ③ 大正2年 (91才)
 ④ 4名・9名・13名
 ⑤ 好き嫌いなし、野菜づくり、テレビですもう観戦



① 小島久子
 ② 神置町
 ③ 明治43年 (93才)
 ④ 3名・8名・6名
 ⑤ 好き嫌いなし、お花、詩吟、H9年お花で「ふるさと伝統文化師匠」の県知事表彰を受ける

※ ①氏名 ②住所 ③生年月日 ④子供・孫・ひ孫 ⑤好物・健康法・趣味モットー

少子・高齢化の進行は、私たちの身近なところでも感じる昨今ですが、私たちの住む稲羽西小学校区の高齢化率は今年四月一日現在において二〇・〇%と約五人に一人が六十五才以上の高齢者ということになります(市内においても一番高齢化率が高い。全国十九・〇%、各務原市十六・三%)。しかし、高齢化がいくら進んでも、皆さんがお互いにお元気でいきいきと過ごされるのが大切ではないでしょうか。このコーナーでは、中屋地域にすんでいるお元気なお年寄りを紹介します。



ビオトープは今

五年 岩井百花

ビオトープは、去年できて、今年、魚や貝やカモなどたくさんの生き物がいます。水も流れていて、とてもきれいです。今は休み時間にたくさんの方が遊びに来ています。

わたしたちは、四年生になってから、ビオトープに入れるホタルのよう虫を育てています。日置さんという方に、ホタルのよう虫を二百匹きいたいただいて、理科室のしゅく箱の中でじっくり育てています。水温や気温をはかったり水ごけをしめらせりしています。わりばしで登ってきたタニシを水の中に落とし、レンガの上まで、水が入っていないと、ビオトープの水が流れている所まで行って水をくんでみます。昼間は、かくれているけれど運がいいとホタルがタニシを食べているのが見られます。少し大変だけどこれからは四年生みんなでじっくりがんばれば、いいなと思います。ビオトープにホタルが飛ぶ日がとても楽しみです。

平成16年度 社会福祉協議会中屋支部 役員名簿

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
顧問	小島政喜	下中屋町3-153	82-4411	前支部長
支部長	澤田佳辰	松本町2-51	82-3792	自治会長(松本町)
副支部長	松尾芳樹	神置町3-33	82-0398	民生委員児童委員
福祉推進委員	尾関昭司	上中屋町2-170	82-2156	民生委員児童委員
福祉推進委員	小島 款	下中屋町3-96	82-3825	民生委員児童委員
会計	松尾嘉弘	神置町3-45	82-2535	自治会長(神置町)
書記	伊藤 昇	大佐野町3-44	82-0438	民生委員児童委員
監事	佐々木優	上中屋町4-71	82-4915	自治会長(上中屋町)
〃	松尾二郎	成清町5-50	83-7612	自治会長(成清町)
理事	奥村政秀	上戸町3-361	82-2582	自治会長(上戸町)
〃	伊藤義勝	大佐野町1-40	82-0307	自治会長(大佐野町)
〃	小島正樹	下中屋町2-215	82-2766	自治会長(下中屋町)
〃	奥村すゝ子	上戸町3-7	82-0388	民生委員児童委員
〃	佐々木博康	上中屋町5-93	82-1491	民生委員児童委員
〃	佐々木秀治	山脇町6-78	71-3976	民生委員児童委員
〃	仲 弘智	成清町7-87	82-6669	民生委員児童委員
評議員	横井 実	三井町5-102-5	71-6128	稲羽西小学校PTA副会長
〃	細川繁樹	大佐野町1-144	83-2848	稲羽中学校PTA副会長



五月、プールの、数羽のカルガモやマガモが飛来しました。昨年まではなかった事。これに先立ち四月には、ビオトープに二羽のカモが飛来し、水際の草をついばんでいたのです。学校にビオトープができて、カモがここらあ

ビオトープは進化しています

稲羽西小学校校長 清水孝子

五月、プールの、数羽のカルガモやマガモが飛来しました。昨年まではなかった事。これに先立ち四月には、ビオトープに二羽のカモが飛来し、水際の草をついばんでいたのです。学校にビオトープができて、カモがここらあ

一宮平成ホタルの会から二百匹の幼虫をいただき、四年生がホタルの飼育を始めました。来年の夏、ビオトープでのホタル祭りを目標にしています。

ビオトープの活用を各学年の教育課程に組み込みました。子どもたちのビオトープ委員会はどんな命が生まれているか観察し発信しています。地域やPTA役員の方々のビオトープ管理委員会からお力添えを頂き、ビオトープは進化し続けています。

親子ふれあい映画会



◎わすれるもんか!

目の不自由な小山正彦を中心とする盲学校の生徒によるギター演奏会を舞台にしたお話です。この正彦の精一杯生きている姿が周りの人たちに感動を与え、感動を受けた人が、その感動から行動を始め、それがまた、周りの人を変えていくという人間の変革と連帯をさわやかに描いています。

◎日 時：8月5日(木) 午後7時から
 ◎場 所：稲羽福祉センター
 ☆入場無料☆ご家族そろってお越し下さい。
 ☆参加賞を準備しています。